

中原消防団  
広報誌  
第26号

発行 平成30年9月  
題字 中田 隆氏

# 翔太



大戸分団 川崎市操法大会で通算6度目(史上最多)の最優秀賞を獲得

平成30年6月24日(日)、川崎市中央卸売市場北部市場にて平成30年度川崎市消防団操法大会が開催され、市内8消防団16チームによって小型ポンプ操法の競技が実施され、中原消防団大戸分団の操法チームが最優秀賞に輝きました。これによって、7月25日(水)に行われた第51回神奈川県消防操法大会へ出場し、優秀賞を獲得。川崎市代表の役目を立派に果し、中原消防団の力を見事に披露しました。

## 大戸分団操法チームが川崎市ナンバー1に輝く 県大会でも優秀賞を獲得

平成30年度川崎市消防団操法大会成績(川崎市消防団長会表彰チーム)

最優秀賞	中原消防団大戸分団	タイム 43.86 秒	総合得点 85.8 点
優秀賞	多摩消防団宿河原・堰班	タイム 46.15 秒	総合得点 80.4 点
優良賞	幸消防団第2分団	タイム 48.98 秒	総合得点 79.4 点
優良賞	麻生消防団黒川班	タイム 44.02 秒	総合得点 77.5 点

3度目の1番員・市川慎一郎団員が出来、初の県大会は優秀賞を頂きました。大変だと思っていた訓練が皆様の御協力もあり楽しい訓練となりました。今回の経験を次に続く方々にしっかりと引き継げる様に頑張っていきたいと思えます。

一番員・市川慎一郎団員  
最後にありますが、物心両面からご支援頂いた署員、団本部の方々、OBの方々、団員方々に感謝申し上げます。これからも地域の為に努力精進する所存ですので、御指導、御鞭撻の程よろしくお願いたします。

【区・市・県大会を終えて】  
指揮者・井上荘一班長  
チーム大戸とのルーティーンワーク(操法訓練、そして今回の県大会出場までのお運びを頂き、真に良い経験をさせて頂きました。  
今良かったと思うことは、チームが一丸となり、区市県の方々の大会で訓練通りの操法が出来た事、安全確実迅速のスローガンに則り選手全員が大きな事故や怪我も無く最後までやり抜く事が出来た事。加えて選手御家族の御理解、御協力を頂いた事等、県大会4位優秀賞はありました。私にとって非常に多くのものを得ることができた大会であったことです。

### 井上班長が県大会最優秀指揮者を受賞



中原消防署広報モニターより

- 【2018 大戸分団操法チーム】
- 指揮者 井上 荘 一 班長 (上新城町内会)
  - 1番員 市川 慎 一 郎 団員 (新城中町内会)
  - 2番員 高橋 則 広 団員 (大ヶ谷戸向町内会)
  - 3番員 原 正 俊 団員 (上新城町内会)
  - 補助員 井上 宗 高 団員 (上新城町内会)
  - 補助員 小宮 利 正 団員 (大ヶ谷戸上町内会)



1番員・市川団員、2番員・高橋団員、3番員・原団員

二番員・高橋則広団員  
区大会、市大会を勝ち抜き県大会第4位入賞出来た事は本当に嬉しいです。これからは、次の選手になられる方々を応援していきたいです。ご協力頂きました署の方々、団本部の方々、分団の方々、本当にありがとうございました。  
三番員・原 正俊団員  
以前からずっと県大会に出たいと思っていましたが、今回その夢が叶いました。このような貴重な経験をさせて頂いた大戸分団の皆様、そしてご協力いただきました中原消防団の皆様、感謝申し上げます。

# 第47回中原消防団消防大会及び 平成30年度川崎市・神奈川県操法大会を終えて



中原消防団  
団長 布施 行雄

平成30年6月3日(日)、第47回中原消防団消防大会を開催しました。好天に恵まれ、暑いくらいの陽気の下、中原消防団五つの分団による競技の熱戦が繰り広げられました。出場参加分団は、中原分団・大戸分団・住吉分団・玉川分団・丸子分団で、各精鋭チームによる消防技術の練度を競うものです。

競技内容はホース延長・伝令・収納、応急救護、防火衣着装、小隊訓練、実戦応用放水、そして、小型ポンプ操法、以上の種目で日頃培った技を披露するものです。特に小型ポンプ操法は、4人のチームワークとタイム、節度、確実性、用具愛護と安全性を審査し順位を決めます。

これは日本全国定められたマニュアルに従い、放水に至るまでの過程を競い、各地区大会、川崎市大会、そして神奈川県大会優勝を目標とし

ます。

今回、中原大会で優勝した大戸分団と中原分団の両チームが6月24日(日)に開催された川崎市消防団操法大会に出場し、大戸分団チームが見事最優秀賞に輝き、金の纏を取り返してきました。同時出場の中原分団は事前出場予定の選手の交代を余儀なくされ、健闘空しく、惜しくも16位の結果となりました。

そして、大戸分団は7月25日(水)に神奈川県消防学校(厚木)で開催された神奈川県消防操法大会に出場し、小型ポンプ操法の部・20チーム中で優秀賞(第4位)の素晴らしい成績を挙げました。選手をはじめ分団の皆様、ご家族の皆様には感謝と労いの気持ちでいっぱいです。

尚、今回の中原大会に於いて、準優勝の丸子分団、惜しくも3位の住吉分団、そして玉川分団、中原分団の躍進も目覚ましく、市内8団の上位に迫る成績と自負している次第です。各分団とも2020年の神奈川県大会に向けての精進も願うものであります。



中原消防署  
署長 谷 芳之

第47回中原消防団消防大会が向坂中原区長、田中警察署長をはじめ、多くの来賓の方々や区民の皆様が多数お集まりくださり、大盛況の中、消防大会を開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

当日は真夏のような晴天に恵まれ布施団長をはじめ団員の皆様が早朝より集まり、消防大会の準備を各分団に分かれ要領よく行っている姿を拝見し、一致団結した素晴らしい消防団だと改めて感銘を受けたところでございます。

また、長い期間訓練を行ってきた団員の皆様、力を十分発揮できるグラウンドコンディションで大会を実施することができたことが、非常に良かったなと思えました。

中原消防団の消防大会は、小型ポンプ操法だけではなく、ホース延長・伝令・収納訓練、応急救護訓練、防火衣着装訓練、小隊訓練、小型ポンプ操法と多くの団員の方々が参加することで、来賓の皆様も中原区は災害があっても消防団の皆様がいるから大丈夫と安心されたと思います。各訓練を見ますと、よく訓練され

ていることが一目でわかるような出来栄に驚いたところでございます。団員の皆様が長期間に亘り、昼夜に問わず訓練を行ってきた賜物だと思います。今年度は、小型ポンプ操法が大戸分団、小隊訓練が玉川分団、総合優勝が住吉分団と、各分団の力が拮抗しており、一段と白熱した大会になったのではないかと感じたところでございます。

平成30年度川崎市消防団操法大会は、大戸分団と中原分団が中原消防団の代表として出場し、雨が降ったり止んだりする中、残念ながら中原分団は、直前に出場選手がケガをし、選手交代したことで、十分な実力が発揮できず、悔しい思いをしたと思います。大戸分団は今年にかける思いが十分伝わる非常に素晴らしい出来栄で、最優秀賞という結果で、10年振りに金の纏を持ち帰って下さしました。私が見た中では、節度とタイムが他の団と比較出来ないくらいの出来であったと思えます。

最後に、各団員の皆様がこれらの訓練で培った技術や団結力を中原区の安全安心のため、発揮していただくことを期待しております。



中原消防署3階の  
優勝旗と金の纏

# 第47回中原消防団消防大会開催

平成30年6月3日(日)、等々力緑地  
催し物広場にて第47回中原消防団消  
防大会を開催し、日頃の訓練の成果  
を披露いたしました。



選手宣誓  
住吉分団 青山 透 部長



開会式の様子  
「地域別対抗 五つの分団が誇りをもって競技します」

## 各競技の優勝者

### 〈小型ポンプ操法〉

#### 大戸分団

指揮者 井上 莊一 班長  
(上新城町内会)

1 番員 市川 慎一郎 団員  
(新城町内会)

2 番員 高橋 則広 団員  
(大ヶ谷戸町内会)

3 番員 原 正俊 団員  
(上新城町内会)

指揮者以下4人編成で可搬式小型ポンプを用  
いて、20mのホースを3本延長し放水を行  
い、火点表示板を倒すタイムと技術の安全確実性  
を審査する教育訓練の集大成の競技



中原大会で優勝した大戸分団操法チームは  
川崎市大会に出場し 見事最優秀賞に輝き県大会に出場

### 〈ホース延長・伝令・収納〉 大戸分団

富永 達也 団員 (大ヶ谷戸常陸町内会)  
鹿島 俊祥 団員 (下小田中5丁目町内会)  
田島 道男 団員 (下小田中2丁目町内会)  
2本のホースを展張・連結した後走って伝達  
そのホースを他の2名が巻き納める競技



### 〈防火衣装着〉 玉川分団

岡田 周太郎 団員 (上平間第1町内会)  
出動を想定して迅速確実に装着する競技



### 〈応急・救護〉 住吉分団

田口 博隆 団員 (井田共和会第3町会)  
高梨 英敏 団員 (荏宿町内会)  
末永 直 団員 (井田共和会第1町会)  
要救護者役に三角巾で応急手当を行い簡易  
担架で搬送する競技



### 〈小隊訓練〉 玉川分団

指揮者以下分団員



指揮者 越智 利幸 班長 (中丸子南町町内会)  
指揮者の号令により行進、方向変換、かけ足等  
を行う部隊訓練



訓練 そして大会と家族の支えに感謝です  
「いつもありがとうございます」

### 第 47 回中原消防団消防大会各団体表彰

中原防火協会会長賞	総合優勝	住吉分団
中原消防団OB会会長賞	総合優勝	住吉分団
	小隊訓練優勝	玉川分団
川崎北ロータリークラブ会長賞	小型ポンプ操法優勝	大戸分団
セレサ川崎農業協同組合会長賞	一般競技優勝	住吉分団

この 4 月から歴史と伝統のある中原消防署で勤務できること、又、強い結束力と郷土愛の精神に溢れた中原消防団の皆様と共に地域の安全安心を守る機会をいただけたことを大変嬉しく思っております。

さて、私は昭和 60 年 4 月 1 日に拝命され川崎消防署、臨港消防署、消防局予防部査察課で主に予防業務に従事してきました。その後高津消防署の庶務係長として消防団に直接関わる仕事をさせていただき、川崎消防署予防課長、副署長を経て、初めて中原消防署勤務となりました。

この間には、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震の被災地でポ



4 月の器具機能検査で「よろしくお願ひします！」と全分団に挨拶する姿が素敵でした (広報委員)

☆☆☆  
「はじめまして」  
中原消防署副署長  
熊谷 智子

ランテニア活動に参加し、市民目線で被災地での生活や支援活動を経験しました。

川崎市で首都直下地震の災害が危惧されている中、これらの経験を生かし地域の減災に取り組むことは私の目標のひとつです。消防団は地域の要であると感じています。消防団の皆様にご支援ご指導をいただきながら力を注ぎたいと思っております。

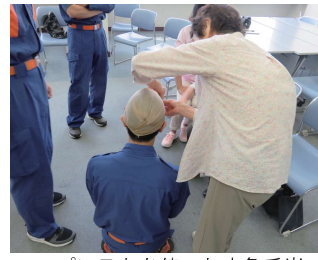
「女性の副署長は珍しいですね」とお声をかけていただくことがあります。実は昭和 44 年に日本で初めて、女性消防吏員を採用したのは川崎市消防局であり、最近では女性消防吏員も消防隊、救急隊、救助隊として災害現場で活動しています。まだ少数派ですが地域の安全安心のために頑張っています。私も谷署長のもと全力で消防行政に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

**おめでとつございます**

**消防庁長官表彰**  
中原消防団本部の佐藤正義警護部長が平成 30 年 3 月に永年勤続功労章を受章されました。

**木月伊勢町自主防災訓練**  
平成 30 年 6 月 30 日 (土) に木月伊勢町自主防災訓練に住吉分団が参加しました。

身近な物を使った応急手当と傷病者搬送法の訓練を、地域の方と共に実施しました。



パストを使った応急手当

### 積載車更新

平成 30 年 3 月に大戸分団下小田中班と住吉分団木月班の小型ポンプ積載車が更新されました。

### 編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第 26 号発行に際して、皆様に多大な御尽力を賜り深く感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

発行責任者 布施行雄  
編集 中原消防団広報部  
広報部長 加藤讓司  
中原分団 遠藤卓弥・小川敏央  
大戸分団 原 清郊・大場 隆  
住吉分団 田口眞弓・鈴木正基  
玉川分団 長谷川正美・野口恭之  
丸子分団 松川正二郎・山本喜道